

実 習 実 施 計 画 書

事業者名 有限会社 ウェルフェア
 研修事業の名称 介護職員初任者研修

(実施方法)

できるだけ通学に負担の少ない施設で実施。
 「施設型」「通所」は各1日以上6～8時間実施。「訪問介護サービス」は1～2件、
 4時間以内とし訪問介護員に同行し在宅での生活援助を学ぶ

1. 施設・居住系実習

実施期間	25年9月10日～25年9月12日			
時間数	6時間 × 3日 = 18時間			
内容	施設系サービスは入所及び入居者の生活の場であることを留意して行動する。 ・申し送り、送迎、体操やレクリエーションへの促し、入浴に関する介助、食事介助、排泄介助等			
サービス種別	整理番号	実習施設名	実習指導者名	実習者人数
介護老人福祉施設	1	特別養護老人ホーム とそ清風園	中島 智子	4名 (1日4名)
介護老人保健視閲	2	介護老人保健施設 フレンドホーム	中仮屋 博	4名 (1日4名)
介護老人福祉施設	3	特別養護老人ホーム 三船園	竹中 里絵	4名 (1日4名)
介護老人福祉施設	4	特別養護老人ホーム くすの木グリーンハイツ	水間 宏和	4名 (1日4名)
認知症対応型共同生活介護	5	グループホームよしの村	宮口 由紀	4名 (1日4名)
介護付有料老人ホーム	6	介護付有料老人ホーム ガーデンハウス慈遊館	山下 三之	4名 (1日4名)
介護付有料老人ホーム	7	介護付有料老人ホーム クレセール天保山	増元 美由紀	3名 (1日3名)
認知症対応型共同生活介護	8	グループホーム ショコラうすき	屋 裕子	3名 (1日3名)
				合計 30名

2. 通所事業所実習

実施期間	25年9月10日～25年9月12日			
時間数	6時間 × 3日 = 18時間			
内容	通所系サービスの1日の流れを理解する。 利用者に応じた援助方法を学ぶ。出来るだけ多くの利用者の方とコミュニケーションをとり、利用者の気持ちを理解する。 食事、入浴、排泄等の介助を通して基本的知識をより深いものにする。			
サービス種別	整理番号	実習施設名	実習指導者名	実習者人数
通所介護	1	とそ清風園 デイサービスセンター	中島 智子	3名 (1日3名)
通所介護	2	くすの木 デイサービスセンター	水間 宏和	3名 (1日3名)

通所介護	3	ディダの郷 デイサービスセンター	福元 寿里	3名 (1日3名)
通所介護	4	三船園 デイサービスセンター	竹中 里絵	3名 (1日3名)
通所介護	5	武岡台 デイサービスセンター	藤木 紀代美	3名 (1日3名)
通所介護	6	デイサービスひびき園	鮎川 健一郎	3名 (1日3名)
通所介護	7	デイサービス おたふく郡元	水口 義夫	3名 (1日3名)
通所介護	8	あおぞら デイサービスセンター	沖藺 智宏	3名 (1日3名)
通所介護	9	ショコラうすき通い	屋 裕子	3名 (1日3名)
通所介護	10	小規模多機能ホーム さち	中間 秋子	3名 (1日3名)
通所介護	11	デイサービスひびき 桜館	有村 光司	3名 (1日3名)
通所介護	12	デイサービスひびき 秋桜館	二田 公司	3名 (1日3名)
				合 計 36名

3. 訪問介護実習

実施期間	25年9月13日・17日・18日			
時間数	6時間 × 3日 = 18時間			
内容	<p>施設とは異なる在宅介護サービスの特徴を理解し、ケアプランによる限られた時間内でどのようにサービスが行われているのか、在宅でのサービスの進め方や援助方法を学ぶ。</p> <p>利用者の生活環境及び習慣を理解し、利用者に合わせて個別援助の方法を学ぶ。</p> <p>利用者及び家族とのコミュニケーションも大切さを理解する。</p>			
サービス種別	整理番号	実習施設名	実習指導者名	実習者人数
訪問介護	1	くすの木 ヘルパーステーション	水間 宏和	4名 (1日4名)
訪問介護	2	訪問介護ステーション フレンド	中仮屋 博	4名 (1日4名)
訪問介護	3	ヘルパーステーション よしの	馬庭 鈴子	4名 (1日4名)
訪問介護	4	ヘルパーステーション オアシス	内藺 真梨絵	3名 (1日3名)
訪問介護	5	ヘルパーステーション るびなす	師玉 浩二	3名 (1日3名)
訪問介護	6	ケアネット徳洲会 鹿児島ケアセンター	鶴川 町子	3名 (1日3名)
訪問介護	7	ヘルパーステーション 美都	上野 百子	3名 (1日3名)
訪問介護	8	ヘルパーステーション あおぞら	大牟禮 康祐	3名 (1日3名)
訪問介護	9	ヘルパーステーション かいご屋	吉留 正人	3名 (1日3名)

	合 計 30名
--	---------

- * 整理番号欄は、実習施設一覧の整理番号を記載する。
- * 必要に応じて欄を加除して作成してかまわない。
- * 「1 職務の理解」, 「10 振り返り」の「見学」は日程表の会場欄に見学先を記載すればよい。